

## 第 27 回馬の絵作品展 審査講評

審査委員長 齊藤 隆博

今年是一年の休みをはね返すような明るい色彩に富んだものが数多く寄せられました。みなさんの気持ちが伝わって来るようです。また、全体に家で過ごす時間が長かったせいでしょうか、粘り強く取り組んだ作品が目につきました。

小学校低学年は天高く夢の世界に飛び立っていく馬や優しい親子の触れ合いなど自分の心をしっかり見つめて描いています。小学校中学年から高学年に進むにつれて、馬のたて髪や全身の毛の色合いがよく工夫され馬の持つ力強さが出るようになりました。

中学生は作品を選ぶのに大変苦勞をしました。少しずつ馬の描写が正確になってきています。遠くの自然や住む場所など背景が細かく表現され牧場に馬の居る生活感がでてきます。その上馬の毛並一本一本さえもていねいに描かれ効果を上げています。中でも母馬の盛り上がった筋肉の緊張感や骨格のがっちりした身体と対照的に母馬に付き添う仔馬ののびやかさを表現した作品が印象に残りました。

来年はワクチン接種が広がり、早く健康で安全な生活がもどって来るよう願っています。次年度も多くの皆さんの力作をお待ちしております。